

# GIGA スクール通信



G I G A…Global and Innovation Gateway for All

今号担当: 教育課程担当課



## 〇〇〇よくある質問集〇〇〇

今回は、各学校からの問い合わせが多い事項について、いくつかのカテゴリーに分けて共有させていただきます。

### ■端末の環境に関すること

Q. 先生方の Chromebook が不足しているのですが、追加整備はありますか。

A. あります。

今年度は7月から8月にかけて、各学校の児童生徒数、教員数及び普通教室数に応じて、Chromebook・無線LAN・充電保管庫を整備する予定です。

### ■ソフトウェアの活用に関すること

Q. ミライシード（ドリルパーク・オクリンク）について、活用の仕方がわからないのですが、何か良い方法はありますか。

A. いくつか方法があります。

GIGAスクール通信の26号でもお伝えしておりますが、「ミライシード3・3」はドリルパーク編とオクリンク編があり、3週間で3つのステップを実施することで、先生方が簡単な機能を使って活用できるようにしたものです。

また、ベネッセから各学校に提供されている「オクリンク・ムーブノート活用事例ハンドブック」やミライシードファンサイトのHPからもアプリの操作や活用事例等が紹介されています。 <https://miraisedfansite.benesse.ne.jp/index.html>

\*札幌市では、ムーブノートは使用できません。

### ■研修に関すること

Q. 1人1台端末に関する教職員の研修は、今年度実施されますか。

A. 実施いたします。

- Google Workspace for Education に関する各種の研修は、3つのコースに分けて7月27日から8月4日の間に実施する予定です【7月1日申込〆切】。詳細については、6月8日付札教総第484号通知でご確認ください。(担当: 教育政策担当課)
- 教育の情報化に関する各種の研修は、7月26日から8月2日の間に10の講座を実施する予定です。詳細については、令和4年度札幌市教育センター研修案内でご確認ください。(担当: 教職員育成担当課)
- ミライシードに関する研修は、オンラインで夏休みの後半に実施する予定です。詳細については、決まり次第改めてお知らせします。さらに、まなびポケットの研修は、冬休みの実施を検討しています。(担当: 教育課程担当課)

## ■学びの質を高める活用に関すること

Q. 端末に導入されているアプリケーションを使って、授業や学校での効果的な活用について知りたいのですが。

A. 事例は、いくつか取り上げています。

スクールタクトや Adobe Creative Cloud Express などのアプリケーション別活用方法については、令和4年3月に発行した「1人1台端末活用のガイドライン【札幌市版】改訂版」に、活用の学年、教科、題材名等も併せて記載しております。

[https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/documents/guideline\\_040324kaitei.pdf](https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/documents/guideline_040324kaitei.pdf)

Q. 授業の準備や教材研究で作成した資料のデータ共有について、よい方法がありますか。

A. いくつか方法があります。

Google ドライブ内の共有フォルダに格納することによって、ファイルを共有することができます。また、Google classroom では、担当教科別や担当学年別に先生方のクラスを作成することによって、ファイルの共有のほか、お知らせ等を簡単に共有できるようになります。

Q. 万が一の学級閉鎖に備えるため、週末に家庭への端末の持ち帰りを行っていますが、子どもに宿題等を出してもいいのでしょうか。

A. 宿題等を出すことは可能です。

本市が目指している持ち帰りの目的の一つに、授業と家庭学習を接続し、学びの質を高める活用があります。各学校で子どもの発達の段階に応じて、家庭で基礎的な学習内容を習得することで、授業での課題探究的な学習が充実したりすることも考えられます。また、家庭学習の習慣づくりの側面からも考えられます。その一方で、使用時間など健康に配慮した使い方も大切になります。

Q. 個別対応が必要な子どもに、端末を活用して授業配信を行ってもよいのでしょうか。

A. 授業配信を行うことは可能です。

令和4年1月の事務連絡の別添「個別対応が必要な児童生徒に対する ICT を活用した支援等」を参考に、子どもや保護者との相談活動を大切にしながら、本人の状況を的確に把握した上で、Meet でのコミュニケーションや授業配信、Classroom で課題配付・提出、ドリルアプリ等で課題の実施等の活用が考えられます。

### 【主な問合せ先】

- ・端末の環境に関すること (教育政策担当課 学校 ICT 推進担当 TEL 211-3826)
- ・研修に関すること (教職員育成担当課 TEL 211-3802)
- ・ソフトウェアの活用・学びの質を高める活用に関すること (教育課程担当課 義務教育担当係 TEL 211-3891)